第9版

エコアクション21
環境経営レポート

活動期間：令和4年9月～令和5年8月

発行日：　　令和5年10月10日

有限会社　落合建設

添付写真は　　工事の着工前（左）：完了写真（右）

1. 事業概要

1）事業所名及び代表者名
有限会社　落合建設
代表取締役　落合貴志

2）所在地
本社：熊本県天草市新和町碇石1687番地1
竹炭事業部：熊本県天草市小宮地7409番地1

3）環境管理責任者責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者　及び　連絡担当者
落合　貴志
0969-46-3431/090-9726-8156
E-mail : ochiai@amakusa.ne.jp

4）事業内容
一般建設業
建設業許可　：　熊本県知事許可（般-29）第9245号
建設業の種類　：　土木・建築・とび・土工・石工・管工・舗装・しゅんせつ・水道施設
竹炭事業部：
竹炭商品製造販売　竹酢液・竹炭床マット材・竹炭土壌改良材・緑竹等

5）事業規模
設立年月日　平成7年10月3日
資本金　1000万円

㈲落合建設　本社

活動規模	単位	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
工事等の件数	件	44	31	27	22	26
売上高	百万円	240	178	232	343	252
従業員	人	14	14	14	16	16
事務所床面積	m^2	50	50	50	50	50
倉庫床面積	m^2	390	390	390	390	390
資機材置場面積	m^2	450	450	450	450	450
工場・作業所等床面積	m^2	0	0	0	0	0

㈲落合建設　竹炭事業部

活動規模	単位	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年
売上高	万円	4	4	4	4	5
従業員	人	1	1	1	1	1
事務所床面積	m^2	0	0	0	0	0
倉庫床面積	m^2	0	0	0	0	0
資機材置場面積	m^2	600	600	600	600	600
工場・作業所等床面積	m^2	200	200	200	200	200

6）会計年度　　9月　～　8月

２. 環境経営方針

有限会社　落合建設
環 境 理 念

私たちは、ますます深刻化する地球温暖化や、今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、環境法令を遵守しながら、環境負荷の低減・削減を図るために、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

＜行動指針＞

1. 具体的に次の事項について取り組みます。

① 電力・自動車燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減

② 建設資材の省資源、廃棄物の３Ｒ（減量、再使用、再生利用）の推進

③ 資材のグリーン調達の推進及び事務用品のグリーン購入

④ 水使用量の削減

⑤ 地域での環境活動への積極的な参加

⑥ 負荷の少ない施工の推進（低騒音型・低排出型の重機利用）

⑦ 環境に配慮した施工

これらについて環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境への取り組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

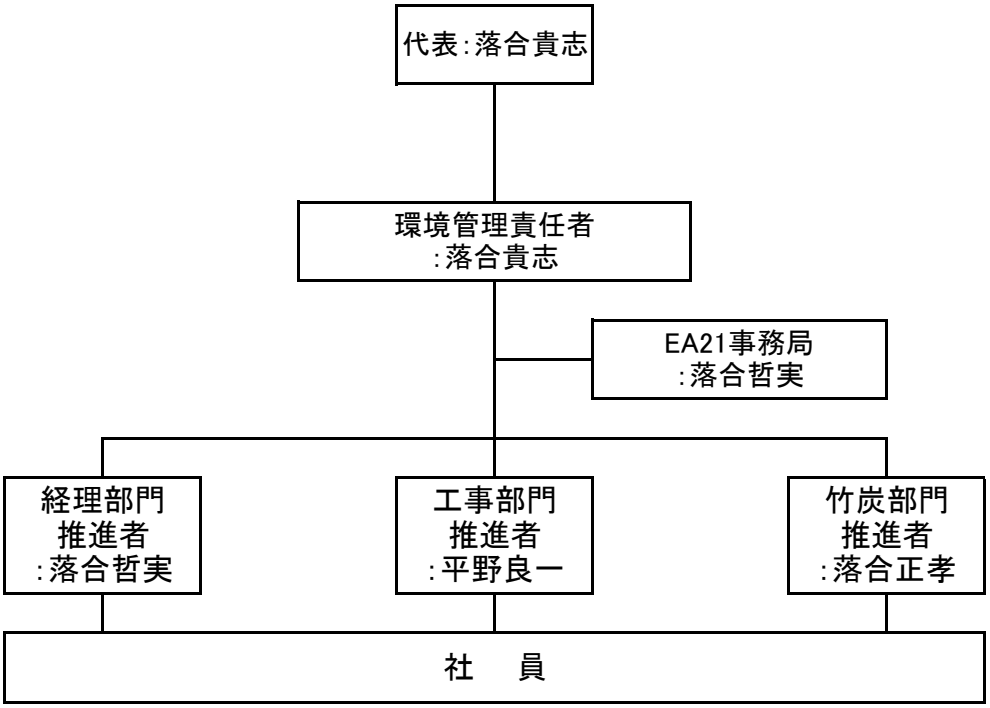
3. この環境経営方針を、全従業員に周知・徹底を図ります。

制　定　日：　平成26年　6月　1日
最終改訂日：　令和 4年　3月 26日

有限会社　落合建設
代表取締役
落合　貴志

3. 実施体制

環 境 管 理 実 施 体 制



役割	役割・責任及び権限
代表者	・環境方針を定め、従業員に周知する ・環境管理責任者を任命する ・環境への取組を適切に実行するための資源（人員、設備、費用）を準備する ・全体の評価と見直しを実施し、必要な指示を行う
環境管理責任者	・環境経営システムの構築、運用、維持に関する責任と権限を有する ・文書・記録を確認し承認する ・環境経営システムの運用状況、実績を代表者に報告する
EA21事務局	・全体計画の立案を行う ・文書の作成、管理を行う ・一般教育の実施、管理を行う ・システム運用上の事務管理を行う
部門推進者	・必要に応じ部門計画を立案する ・実務教育を実施する ・実施状況を確認し、記録をとる
全従業員	・担当する業務に関連した環境目標及び環境活動計画の内容、手順を認識し、自らの役割を実行する

4. 環境目標

方針	項目	基準年度及び目標			
		R3年度	R4年度	R5度	R6年度
		9月～8月	9月～8月	9月～8月	9月～8月
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減		−2.0%	−2.5%	−3.0%
	kWh	21,741	21,306	21,197	21,089
	CO2換算(Kg−CO2)	8,305	9,843	9,793	9,743
	ガソリン使用量の削減		−2.0%	−2.5%	−3.0%
	L	15,377	15,069	14,993	14,916
	CO2換算(Kg−CO2)	35,675	34,986	34,808	34,629
	軽油使用量の削減		−2.0%	−2.5%	−3.0%
	L	38,355	37,588	37,396	37,204
	CO2換算(Kg−CO2)	98,956	97,211	96,715	96,219
	灯油使用量の削減		−2.0%	−2.5%	−3.0%
	L	2,607	2,555	2,542	2,529
	CO2換算(Kg−CO2)	6,491	6,367	6,334	6,302
	ガソリン(混合)使用量の削減		−2.0%	−2.5%	−3.0%
		583	571	568	566
	CO2換算(Kg−CO2)	1,451	1,326	1,320	1,313
	CO2換算(Kg−CO2)の合計値		−2.0%	−2.5%	−3.0%
		149,427	149,733	148,969	148,205
廃棄物	廃棄物のリサイクルの推進				
	①一般廃棄物		① 可燃ごみ・不燃ごみを極力避ける		
	②建設副産物	−	② 建設リサイクル法に基づき適切に処理する		
水	水使用量の削減		−2.0%	−2.5%	−3.0%
	m3	4,396	4,308	4,286	4,264
化学物質	化学物質使用量の管理	化学物質の適正管理			
		実施	実施	実施	実施
グリーン購入	グリーン購入の推進				
	(コピー用紙)				
	50%以上	57	50	50	50
製品・サ	負荷の少ない施工の推進				
		実施	実施	実施	実施
環境保全等	環境保全、社会・地域貢献				
	件数	6回	6回	6回	6回

1・電力のCO_2発生量については、九州電力の2022年度実排出係数(0.462kg−CO2/kWh) を使用した。
2・グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)

5. 環境目標の実績

作成日 ： 令和5年9月30日

方針	項目	基準年度	令和4年度目標、実績及び評価			
		R3年度実績	目標	実績	達成度	評価
		9月～8月	9月～8月		(%)	
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減		-2.5%		118	○
	kWh	21,741	21,197	17,896		
	CO2換算(Kg-CO2)	8,305	8,097	6,836		
	ガソリン使用量の削減		-2.5%		90	×
	L	15,377	14,993	16,757		
	CO2換算(Kg-CO2)	35,675	34,808	38,876		
	軽油使用量の削減		-2.5%		127	○
	L	38,355	37,396	29,492		
	CO2換算(Kg-CO2)	98,956	96,715	76,091		
	灯油使用量の削減		-2.5%		251	○
	L	2,607	2,542	1,012		
	CO2換算(Kg-CO2)	6,491	6,334	2,520		
	ガソリン(混合)使用量の削減		-2.5%		11	×
		110	107	896		
	CO2換算(Kg-CO2)	255	249	2,231		
	CO2換算(Kg-CO2)の		-2.5%		118	○
	合計値	149,427	146,203	124,323		○
廃棄物	廃棄物のリサイクルの推進		廃棄物の分別の徹底	分別を実施した	100	○
	①一般廃棄物					
	②建設副産物	-				
水	水使用量の削減		-2.5%		738	○
		0				
	m3	4,396	4,286	581		
化学物質	化学物質使用量の管理		化学物質の適正管理	化学物質の適正管理	100	○
		実施	実施	実施		
グリーン購入	グリーン購入の推進				114	○
	(コピー用紙)					
	50%以上	45	50	57		
製品・サービ	負荷の少ない施工の推進				100	○
		実施	実施	実施		
環境保全等	環境保全、社会・地域貢献				100	○
	件数	6回	6回	6回		

1・電力のCO_2発生量については、九州電力の2022年度実排出係数(0.462kg-CO2/kWh) を
2・グリーン購入量は、製品購入金額全体に対する環境商品の購入金額割合(%)
3・受注した工種により化学物質がある場合は敵視に管理する

評価コメント

今期の工事では、河川土工工事があり、土砂整地運搬掘削における重機等の使用により燃料の使用量が増加した。工事内容として道路改良も同様に考えられる。そのほかの部分では前年度と比べて改善されてきているので、このままモチベーションアップを保ちつつ、務めていきたい。

６．環境活動計画の取組結果とその評価
及び今後の活動内容

1・環境活動計画及び取組状況の評価

活動期間：令和4年9月～令和5年8月

環境方針	環境目標	活動計画	取組状況の評価	見直し
二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	1．できる限り空調を使用せず、使用する場合は空調管理（冷房時28℃、暖房時23℃）を徹底する	○	環境目標−達成
		2．不在時、昼休みは消灯する	○	
		3．機械、OA機器等の不使用時は電源を切る。	○	
	ガソリン使用量の削減	1．車両の定期点検を確実に行う	○	環境目標−未達成 軽油は工事の種類によって変化する為、現場状況を考慮する見直しの必要がある。
		2．エコドライブの徹底（急発進・急加速・急ブレーキの禁止、一定速度の実施）	○	
		3．不要物を積載しない	○	
	軽油使用量の削減	1．車両の始業点検、定期点検を確実に行う	○	
		2．アイドリングストップを実施する	○	
		3．不要物を積載しない	○	
		4．現場までのルートを効率化する	○	
廃棄物削減・リサイクル	一般廃棄物のリサイクルの推進	1．両面コピー・2in1コピーの徹底	○	環境目標−達成 コントロールが難しい面もあるが、極力再利用・再使用を徹底し、排出量を減らしたい。
		2．裏紙使用	○	
		3．使用済み封筒の再利用	△	
		4．電子メールの活用	○	
		5．廃棄物の区分ごとの排出量を測定する	△	
	建設副産物のリサイクルの推進	1．廃棄物の区分を徹底する	○	
水	節水	1．蛇口に節水ステッカーを貼り、節水を呼び掛ける	○	環境目標−達成 取り組みは良好であった。今後も継続する。
		2．トイレに「音姫様」を導入する。	○	
グリーン購入	グリーン購入の推進	1．コピー用紙等について、再生紙を使用する	○	環境目標−達成 取組は良好であった。今後も継続する。
		2．エコマーク、環境配慮製品を優先的に使用する	○	
		3．グリーン製品購入に努める	○	
		4．リユースのトナーカートリッジを使用する	○	
製品サービス	負荷の少ない施工の推進	1．低騒音型建設機械を使用する 2．低排出型建設機械を使用する	○	環境目標−達成 取組は良好である。
環境保全等	環境保全、社会・地域貢献	1．一斉清掃（居住地で各自参加）その他社会・地域の行事に参加する	○	環境目標−達成 今後も継続する。
		2．各現場ごとにその地区に適したボランティア活動に実施する	○	
		3．天草設備安全衛生協力会主催のボランティア活動に参加する	○	

評価基準　○；できている　△；改善の余地あり　×；できていない

2・次年度の取り組み内容

次年度については、今回の1年間の取組内容を継続して、実施するものとする。

取組の紹介

1・水使用量の削減

2・音姫の設置

3・CO_2削減・節電の取組

４・エアコンの設定温度

室内温度を28度にするためエアコンの設定温度を設定し扇風機にて部屋全体を冷やすようにした。。

7. 環境関連法規等の遵守状況及び違反、訴訟等の有無

1. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

遵守状況評価実施日　　令和5年9月30日

法規名	適用条項	具体的内容	担当者	確認日	遵守の状況の評価
廃棄物処理法	法21条の3-1	・産業廃棄物の事業者の処理 ・産業廃棄物の委託契約	各担当者	工事毎	遵守
	第12条	・産業廃棄物管理票（マニフェスト）の交付	各担当者	工事毎	遵守
		・マニフェスト交付状況報告書の作成及び都道府県知事（熊本県知事）への提出	落合貴志	毎月1回	遵守
労働安全衛生法		・石綿等の除去作業	落合貴志	工事毎	ー
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）	第5条	・建設資材廃棄物の発生の抑制、分別解体及び建設資材廃棄物の再資源化等費用の低減努力 ・建設資材廃棄物の再資源化により得られた建設資材を使用する努力	平野	工事毎	遵守
	第9条	・分別解体等の実施 解体：床面積80㎡以上 新築・増築：床面積500㎡以上	平野	工事毎	遵守
	第10条	・対象建設工事は7日前までに都道府県知事に届出			
大気汚染防止法		・解体改修工事に伴う特定粉じん等排出作業	落合貴志	工事毎	ー
オフロード法		・ﾌﾞﾙﾄﾞｰｻﾞｰ、ﾊﾞｯｸﾎｳ、くい打ち機、ﾄﾗｸﾀｼｬﾍﾞﾙ	平野	工事毎	遵守
騒音・振動規制法	第14条	・特定建設作業・適用指定地域	平野	工事毎	遵守
浄化槽法		・定期点検・清掃、・法定点検の実施 （天草市で管理している。費用を支払っている。）	落合貴志	適時	遵守
家電リサイクル法		・廃棄時に適切な業者に引き渡す	落合貴志	廃棄時	－
自動車リサイクル法		・廃棄時に適切な業者に引き渡す	落合貴志	廃棄時	－

2. 環境関連法規等の違反、訴訟等の有無

関係当局より、環境関連法規等への違反・指摘、訴訟及び外部からの苦情・要望等は過去3年間、ありませんでした。

８．代表者による全体の評価と見直し結果

実施年月日:　　令和5年10月1日

１．代表者による全体の評価

環境関連法規の遵守を基本とし、社員教育、安全衛生、積極的なエコ活動によるエネルギーの削減に取り組みました。ガソリン等燃料費の高騰や物価高による時世の流れに、目標が達成できず難しいところではありました。ですが、従業員の協力により最低限のことはできたようです。重機・機械等の利用が多く、削減が難しいところではありましたが、今の時代に合う様々なスタイルを考え、今後も取り組んでいきたいと思います。再度繰り返しの周知と取り組み、環境活動を考えるということが生活においても当たり前となるように心がけて行きます。

２．代表者による環境経営システムの各要素の見直し

	変更の必要性	変更の必要性有りの場合の指示事項
1. 環境方針	□有・☑無	当面は、変更なし。このまま継続。
2. 環境目標	□有・☑無	当面は、変更なし。このまま継続。
3. 環境活動計画	□有・☑無	当面は、変更なし。このまま継続。
4. 実施体制	□有・☑無	当面は、変更なし。このまま継続。
5. 環境経営システムのその他の要素	□有・☑無	当面は、変更なし。このまま継続。